



SEAT COVER



SUZUKI **SWIFT SPORT**

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびはシートカバーをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

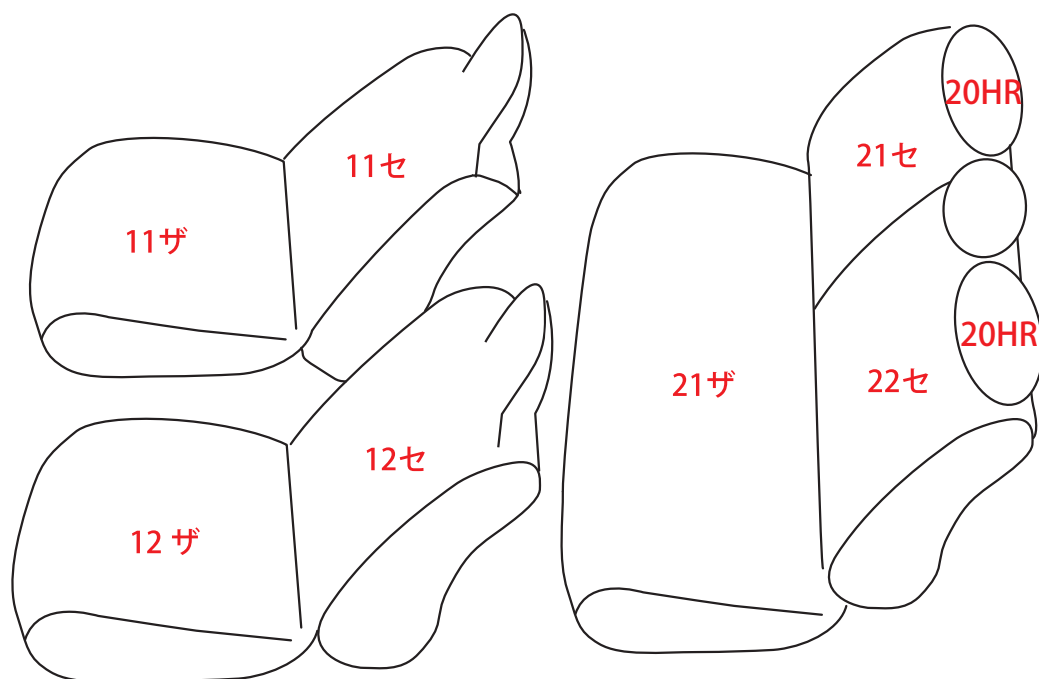
…> **03-04**

シートカバー装着前の注意事項

…> **05-20**

シートカバーの装着方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



① 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等是不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例) 座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています。(SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品)
その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取り付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。



〒590-0002 大阪府堺市堺区砂道町 3-3-16

TEL:072-247-4079

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



- 1** シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



- 4** カバー前側に付いているベルトをシートの背面へ通します。この際、スライドレバーの上にゴムひもを通します。シート下には配線があるので、ゴムひもが干渉しない様に気を付けて作業を行って下さい。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業して下さい。



- 5** 前後にあるゴムに付属のS字フックをつけてシートの下でとめます。



- 3** 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



- 6** 上記のようにとめてください。



7 S字フックで固定すると図のようになります。



10 マジックテープを固定した後、プラスチックの隙間に生地を入れ込みます。



8 カバー外側面の生地を、シートリフターの下側を通すようにかぶせます。



11 内側面には上下2ヶ所にマジックテープが付いています。先に上側のマジックテープを固定し、次に下側のマジックテープをシートに直接貼り付け固定します。



9 通した生地が付いているマジックテープをシートに直接貼り付け固定します。



12 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席は7Pを参考にして下さい。



- 13** 助手席座面は、両側面の形状が運転席とは異なります。
※内側面の固定は運転席と同じですが、固定に使うマジックテープは1ヶ所になります。



- 16** 両側面以外のカバーの固定方法は、運転席座面と同様に取り付けます。
カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。



- 14** 外側面の生地をマジックテープで固定し、生地の一部をヘラ等を使用し、シートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 15** プラスチック部の上側は、生地が入り込むほどの隙間が無い為、隙間に生地を入れ込みます。
※無理に生地を入れ込もうとすると、プラスチック部がシートから外れる事がありますので注意して下さい。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法



1 カバー片側面に付いているファスナーを開きます。



4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業して下さい。



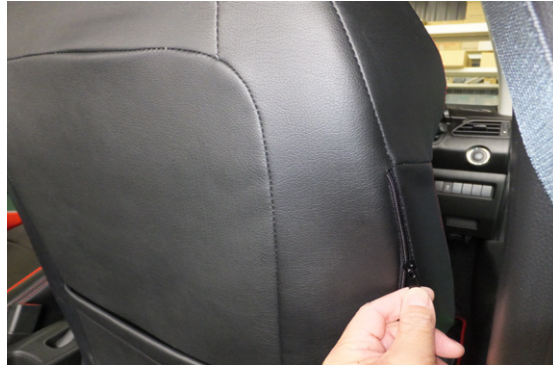
2 シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。この際、図の赤線部のラインに沿うよう、カバーをシートに馴染ませて下さい。



5 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



3 シート全体にカバーをかぶせます。



6 カバー背面のファスナーを生地を内へ寄せながら閉じます。



7 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワを伸ばし、シートに馴染ませます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



10 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。



8 7番の作業で前側にたるみの出た生地を、もう一度背面から引き出し直し、カバー背面の生地とマジックテープで固定します。



9 カバー両側面下側の生地を、図のようにシートに馴染ませます。

Step3

2列目座面の装着方法



1 カバーを取り付ける前に、チャイルドシート用アンカーのプラスチックカバーを外します。プラスチックカバーはアンカーにはめ込まれている為、奥から手前に引くように取り外します。



2 プラスチックカバーを取り外すと図のようになります。



3 ラゲッジスペースの生地をめくり、シート背面側の生地を取り出します。



4 生地を取り出すと図のようになります。



5 カバーの側面を折り返し、シートのラインに合わせてみます。



6 カバーをシート全体にかぶせます。



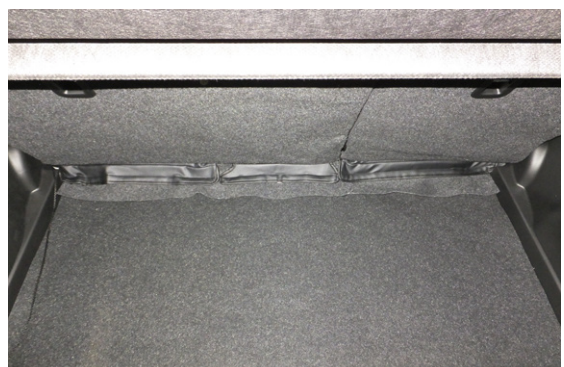
7 カバー奥の加工穴（左右2ヶ所ずつ）をチャイルドシート用アンカーに合わせ、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



10 引き出した生地先端にはマジックテープが付いています。このマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



8 カバー中央の生地も同様に入れ込みます。



11 マジックテープを貼り付けると図のようになります。



9 シート背面から7番、8番で入れ込んだ生地を引き出します。



12 シートベルトバックル部にカバーの生地を入れ込みます。



13 カバー両側面の生地をシートと車体の隙間に入れ込みます。側面の生地にはヒモが付いているので、そのヒモは入れ込まないように注意して下さい。



16 14番で通したヒモを背面へ回します。3番で取り出した生地をめくり上げ、チャイルドシート用アンカーの隙間にヒモを通します。



14 背もたれを正面に倒し、13番のヒモを背もたれの軸（13番の○部）をかわしながら背面へ通します。反対側のヒモも同様に通して下さい。



17 生地をめくり上げたまま、両サイドのヒモ同士を結び固定します。
※詳しいヒモの結び方は、20Pをご覧ください。



15 軸の下を通すと図のようになります。



18 3番で取り出した生地をラゲッジスペースに戻します。



19 シートの裏側に生地を入れ込みます。



20 チャイルドシート用アンカーのプラスチックカバーを戻します。取り外した時と逆の手順でアンカー部分にしっかりとめ込んで下さい。



21 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

2列目運転席側背もたれの装着方法



1 カバー側面のファスナーを開き、シート全体にカバーをかぶせます。



4 入れ込んだ生地を背面から引き出し、カバー背面の生地とマジックテープで固定します。



2 生地伸びを利用して、カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



5 生地を内へ寄せながら側面のファスナーを閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



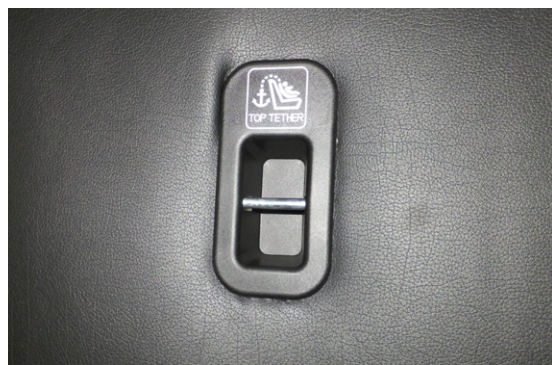
3 カバー下部の生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



6 シートの穴位置に、カバー背面の加工穴を合わせてください。



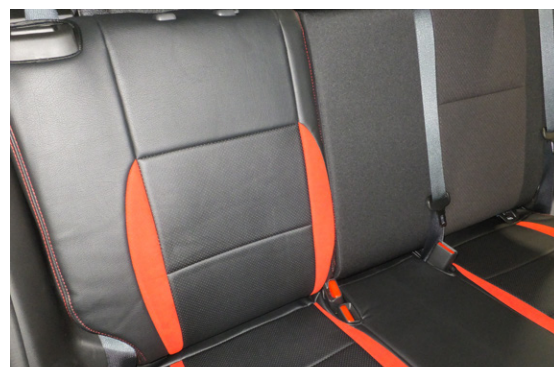
7 肩口のレバーの前側に周りの生地を入れ込みます。レバーの構造上、前側しか生地は入れ込めませんのでご了承ください。



10 生地を入れ込むと図のようになります。



8 生地を入れ込むと図のようになります。



11 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。



9 背面のチャイルドシート用アンカー部の隙間に生地を入れ込みます。

Step 5

2列目助手席側背もたれの装着方法



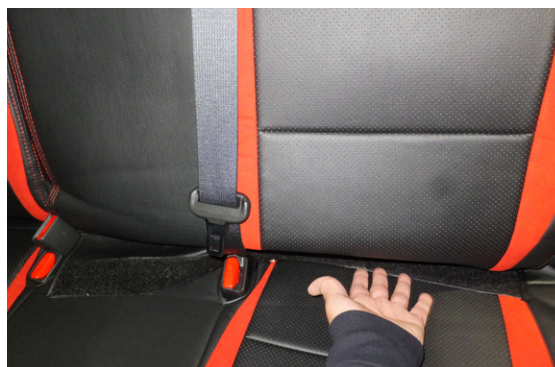
1 カバー背面のファスナーを開きます。



4 生地伸びを利用して、カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



2 シートベルトをかわしながら、シートのラインに合わせて、カバーを全体にかぶせます。カバーのヘッドレスト用加工穴をヘッドレスト台座の穴位置に合わせるようにして下さい。



5 カバー下部の生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



3 生地を内へ寄せながら背面のファスナーを閉じます。



6 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



7 引き出した生地とカバー背面の生地をマジックテープで固定します。



10 肩口のレバーの前側に周りの生地を入れ込みます。レバーの構造上、前側しか生地は入れ込めませんのでご了承ください。



8 ファスナーの余った部分はカバーの内側へ入れ込みます。



11 背面のチャイルドシート用アンカー部の隙間に生地を入れ込みます。



9 シートの穴位置に、カバー背面の加工穴を合わせて装着してください。



12 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。

Step 6

ヘッドレストの装着方法



- 1** 始めにカバーの前後を確認します。平らなプラスチックが付いている方が前側です。カバーを図のように下から上に向かってかぶせます。



- 4** カバー底面でプラフックを固定します。
※詳しいプラフックの固定方法は19Pのプラフックの固定方法をご覧ください。



- 2** ヘッドレストのラインに合わせて慎重に上までかぶせます。
※無理に引っ張るとカバーが裂ける恐れがあるので、慎重に行ってください。



- 5** カバーのラインを整えて、ヘッドレストの完成です。



- 3** カバー底面でマジックテープを貼り合わせて固定します。



- 6** 中央ヘッドレストも一部形状は異なりますが同様に取り付けます。
※カバーにマジックテープは付きません

プラフックの固定方法



- 1** ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラフックと板状のプラフックを使用して固定するものがあります。
例：ヘッドレスト



- 4** 正しくプラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



- 2** プラフックの固定方法は、カギ状のプラフックに板状のプラフックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



- 5** 間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に図のように板状のプラフックの縫製系が見えてしまいます。



- 3** 図は間違った固定方法です。板状のプラフックのみをカギ状のプラフックに引っ掛けるだけでは、しっかり固定出来ません。

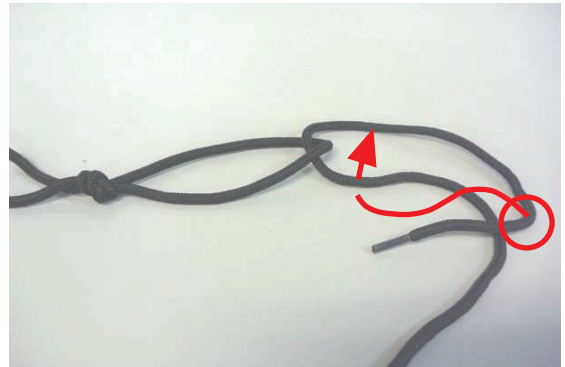


- 6** 例で使用したヘッドレストの場合、このようになります。

ヒモの結び方



1 カバー両側面に付いているヒモの一方で、図のような輪を作ります。



4 ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを（図の右側）輪のようにし、矢印部分をつまむようにして輪に通します。



2 1番で作った輪に、もう一方のヒモを通します。



5 通したヒモの○側を引っ張ると、ヒモが結ばれます。ヒモの先端を引っ張ると、ヒモは結ばれません。



3 通したヒモで、シート下回りを引き絞りと、結び留めます。
ヒモを強く引っ張りすぎると切れる恐れがありますのでご注意ください。



6 正しくヒモを結び留めると、このようになります。
この状態でヒモの先端を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方になります。

<http://sevenroad.jp>



〒590-0002 大阪府堺市堺区砂道町 3-3-16
TEL:072-247-4079 FAX:072-247-4082